

5月25日からの学校再開にあたって

青洲高等学校

学校再開にあたり、次のような対策を取っていきます。

1. 感染リスクを減らす環境づくり

3つの密（密閉、密接、密集）を避ける。

密閉 → こまめに**換気**を行う。

密接 → 近距離での**会話**を避ける。

密集 → 多くの人が集まらないようにする。集まる場合でも**1～2m程度の距離**をとるように心掛ける。

2. 正確な情報の伝達と共有

ホームルームにおいて、生徒への**正確な情報の伝達**と**感染症対策への意識**を高める

3. 体調管理（社会の一員として「**感染しない、感染させない**」）

- ① 生徒は、**登校前に必ず検温**し、健康状況を **Classi** 等に入力・記録する。
- ② 生徒は、平常時より熱が高い、倦怠感がある、味覚・嗅覚の異常がある等、**体調に不安がある場合は自宅で休養**する。
- ③ 生徒は、規則正しい生活、バランスの取れた食事を心掛ける。
- ④ 学校は熱中症対策を十分に行い、生徒は水分補給の**飲み物を各自で持参**する。
- ⑤ 学校では、健康調査票等により、健康面での配慮が必要な生徒の情報を共有する。

教職員についても出勤前の検温を徹底する。

4. 始業終業時間

- ① 6月第1週までを目処とし、通勤時の混雑を避けられるよう始業時間を遅らせる。
通勤時間を避けるために、学校に早く登校することは構わない。
- ② 6月第1週までを目処とし、青洲高校と市川高校とで分散登校・時差登校を行う。
- ③ 部活動は、通常授業が行われるまで実施しない。
- ④ 清掃終了後、速やかに下校する。

5. 学校生活における対策

- ① 生徒は、**石鹼での手洗い**をこまめに行う。
 - ・電車で通学した生徒は、登校後すぐに石鹼での手洗いを行う。
 - ・食事の前やトイレの後には、石鹼で手洗いを行う。
 - ・机や用具などを他者と共有した場合は、石鹼での手洗いを行う。
※教室の入口に手指の消毒用アルコールを配置する。
- ② 公共交通機関で登下校時を含め、学校において**マスクを着用**する。
- ③ 複数手が触れる箇所（ドアノブ、手すり、机・椅子）を**清掃時に消毒**する。
清掃時以外にも、必要に応じて、消毒を実施する。
- ④ **教室等の換気**を行う。
 - ・教室の換気システムを24時間作動する。
 - ・常に、教室等の全ての窓の両側を10cmずつ開けておく。
 - ・休み時間ごとに、教室の廊下側の窓を全開、屋外に面した窓の一番前と一番後ろを全開にする。
- ⑤ **近距離での会話**をしない。
 - ・座席間隔を十分にとり、近距離での会話や発声を避けるよう授業を工夫する。
 - ・昼食時は、私語をしないで机を向き合わせず前を向いて食べるよう指導する。
 - ・会話する際は、マスクを着用し腕2本分の距離を保つよう指導する。
- ⑥ ティッシュ等のごみはフタ付きのごみ箱に捨てさせ、清掃時に処理をさせる。

6. 学習等への対応

- ① ペアやグループで意見交換をする授業や実習をおこなう授業では、十分な距離が保てるようにする。
- ② 各教科において、ICT(Classi、Teams、等)を有効に活用し、学校再開後も生徒の学習のサポートを行う。
- ③ 2者面談やClassiでの学習記録のコメント等を通して、生徒の学習状況把握や様々な不安の解消に向け引き続きアドバイスを行う。
- ④ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、生徒の精神面のケアに留意していく。

図書館は、本の貸出しを目的とした短時間の利用のみ可能とする。

7. その他

状況に変化に応じて、適宜、対応を検討していきます。